

## 令和5年度 松実会地域包括支援センター事業実績報告

## 1 総合相談支援、権利擁護

## ○受付形態（延件数 件）

来所	58
電話	459
訪問	615
FAX	0
メール	1
その他	17
合計	1150

## ○受付分類（重複あり 延件数）

介護保険サービス	408
医療相談	85
うつ、ひきこもり等精神相談	54
認知症相談	113
虐待相談	34
権利擁護	25
介護予防、保健相談	0
成年後見制度相談	2
生活支援	74
ケアマネ支援 ※1	11
実態把握 ※2	463
住宅改修	2
福祉用具相談	0
救急キット	4
緊急通報装置	2
免許返納要望書	0
その他	113
合計	1390

## ○相談者（延人数 件）

本人	635
家族・親族	195
地域住民	10
ケアマネジャー	77
民生委員	66
警察	21
行政職員	20
医療機関	42
社会福祉協議会	5
介護サービス事業所	6
地域包括支援センター	55
その他	18
合計	1150

## ※圏域外相談（6、8月）

受付形態：電話 2件

相談者：家族・親族 1件

地域包括支援センター 1件

受付分類：介護保険サービス 1件

認知症相談 1件

○消費者被害への対応 208 世帯 316 人（安全安心協力センター「声かけ活動」報告件数）

## ○評価及び次年度の方向性

総合相談件数について、前年度と比較すると令和4年度1,065件に対して今年度1,150件と85件の増加。相談者別にみると「家族・親族」「民生委員」等からの相談や情報提供が増加しており、地域住民から当センターを相談窓口として認知して頂いていることがうかがえる。受付分類別にみると、「介護保険サービス」に関する相談が令和4年度317件から今年度408件と、91件増えているが、認定後の意向確認に係る記録を令和4年7月頃より追加となっていることも増加の要因と考える。

また、前年度と比較すると「うつ、ひきこもり等精神相談」、「認知症」、「権利擁護」の件数が増え、虐待相談、成年後見制度相談が減少傾向にあった。

相談実態把握訪問の際に、消費者被害に係る電話や訪問等がないか確認し、注意喚起の声をかけながら県警からのチラシ配布に努めた。全国で詐欺被害が多発していることもあり、次年度も引き続き実施していきたい。

救急キットの配布については、令和3年度から毎年4～5件の推移。訪問時、既に設置されている世帯や必要性を感じられていない世帯もあった。必要な世帯への設置、あるいは設置から年数が経過している世帯へは情報の更新を勧めていきたい。

## 2 包括的・継続的ケアマネジメント

○主催（北部圏域ネットワーク会議、ケアマネ情報交換会等）

会議・研修名	日時	場所	内容	参加者
北部圏域居宅介護支援事業所情報交換会	5月16日	葉の木沢山活動センター集会室	北部圏域居宅事業所との情報交換	6名
介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントに係る研修	6月13日	ケアプラン室こもれび相談室	新規採用職員に対する標記研修の実施	1名
第1回滝沢市北部地域ネットワーク会議	7月19日	葉の木沢山活動センター集会室	警察・消防・社会福祉協議会・民生委員の地域における役割について	17名
第2回滝沢市北部地域ネットワーク会議	11月15日	葉の木沢山活動センター集会室	成年後見制度の実務について	16名

○参加

会議・研修名	日時	場所	内容	参加者
介護予防支援業務及び介護予防ケアマネジメント業務委託事業所連絡会議	4月18日	市役所会議室	委託事業所への業務に係る説明	菫澤 高橋
滝沢市地域ネットワーク会議	4月24日	ビッググループ滝沢	市内事業所の情報交換等	菫澤 高橋 加藤
市内居宅介護支援事業所情報交換会	6月29日	市役所防災庁舎	記録の仕方等についてグループワーク	菫澤
滝沢市地域ネットワーク会議	10月19日	市役所防災庁舎	研修会、情報提供	工藤
市内居宅介護支援事業所情報交換会	2月21日	市役所防災庁舎	市の地域課題と対応、介護支援専門員の後方支援等	高橋

○評価及び次年度の方向性

主催の地域ネットワーク会議については、コロナが第5類となりほぼ通常通りの形で開催することができた。内容については、身寄りのない独居世帯の相談が増加傾向にあり、日頃関わっている各事業所の関心も高いことから、成年後見について学ぶ機会を設けた。質疑応答では積極的な質問や意見が交わされ、今後も権利擁護について内容を取り入れていく必要性の高さがうかがえた。

北部圏域に居宅事業所が少ない中で、様々な形態の事業所に参加してもらいたいと考えているが、どのようなテーマを設定すると参加しやすくなるか、市主催の会議や情報交換会の意見を参考にしながら、今後も組み立てていきたい。

## 3 地域ケア会議

○主催（地域ケア個別会議Ⅰ）

日時	場所	内容	参加人数
6月21日	葉の木沢山活動センター集会室	生活している地域の商店が数年前に閉店しており、自身を「買い物難民」と訴えている方の事例	12名
10月18日	葉の木沢山活動センター集会室	地域での生活を継続していくために必要な、家族へのアプローチとは？	13名

○主催（地域ケア個別会議Ⅲ）

日時	場所	内容	参加人数

○参加（地域ケア個別会議Ⅱ）

日時	場所	内容	参加者
5月31日	市役所 会議室	事例検討会（認知症支援に関する事例）	佐藤
7月19日	市役所 会議室	心肺蘇生とAEDの使い方	田中
9月11日	市役所 会議室	認知症当事者の思い	佐藤
11月15日	ふるさと交流館	医療介護連携に関する事例	加藤
1月24日	市役所 会議室	ユマニチュード	佐藤
3月13日	市役所 会議室	アルコール依存症について	佐藤

○抽出された地域課題

地域ケア個別会議Ⅰを2回開催。地域課題としては「自身を買い物難民と訴える方の事例」、「地域生活を送る為の家族へのアプローチに関する事例」が抽出された。

○評価及び次年度の方向性

個別会議Ⅰは、例年通りの2回の開催となっている。委嘱委員との関係性も徐々に深まり、会議の進行や意見交換がよりスムーズになったと感じる。一方で、個別会議Ⅲの開催は無かったが、困難ケースの対応においても必要時に関係機関との連携はとっており、情報交換や対応協力を依頼する事で、早期解決につながったケースも多かったと感じる。今年度の相談内容において、生活困窮や精神疾患、多問題を抱える世帯の相談が増えてきていることから、迅速な解決が図れるよう各機関との関係性を深め、必要時に連携をとれるような体制をとっていきたい。

#### 4 生活支援体制整備

○主催（第二層協議体）

会議・研修名	日時	場所	内容	参加人数
第二層協議体 柳沢学校区	9月25日	柳沢地区コミュニティセンター	地域資源・地域課題について意見交換、情報共有	8名
第二層協議体 一本木中学校区	11月9日	北部コミュニティセンター	地域資源・地域課題について意見交換、情報共有	9名
第二層協議体 滝沢第二中学校区	12月15日	川前地区コミュニティセンター	地域資源・地域課題について意見交換、情報共有	11名

○主催（ねむねむの会・居場所づくり）

日時	場所	内容	参加人数
4月11日	ごろり庵 (上野カナエ様宅敷地内)	茶話会 ストレッチ体操 下肢マッサージ	5名
5月9日		茶話会 お花見	8名
6月13日		茶話会 てるてる坊主作り	4名
7月11日		茶話会 フラワーアレンジメント	6名
9月12日		茶話会 焼肉パーティー 生協試食説明会	9名
10月10日		茶話会 卓球大会	8名
11月7日		茶話会 芋の子会	11名
12月12日		茶話会 しめ縄づくり 蕎麦お振舞	13名
1月9日		上野カナエ様宅	茶話会 とちの実のキーホルダー作り 今年の抱負について
2月6日	ユートランド姫神	食事会 入浴	9名
3月12日	上野カナエ様宅	茶話会 パン作り	8名

○参加の会議・研修、地域活動への参加状況 ※別紙1 参照

○評価及び次年度の方向性

第2層協議体において、前年度は地域の特徴・資源・活動・困りごと等を中心に意見交換を行ったが、今年度は前年度を踏まえてさらにあればよいと思われる活動、新たに取り組みたい活動について話し合い、活発な意見交換及び情報交換を行うことが出来た。移動手段の問題から既存の集いの場へ参加できない方、新たに集いの場を開催したい方については関係機関と情報共有しながら支援していきたい。

ねむねむの会については、参加者が一定数確保され、地域のお茶っこ会ということで定着してきている。主催者が曖昧となっている件については、参加者の思いを大切にしながら住民主体の会となっていくよう支援していきたい。今年度完成した地域資源一覧については、地域の資源を見える化ということで一定の評価をいただいているが、PCやスマホから離れた生活をされている方々にとっては目に触れにくい状況となっている。情報弱者の方々も地域資源ガイドが活用できるような対応を検討していく必要があると思われる。

5 認知症総合支援

○主催（認知症サポーター養成講座）

日時	場所	内容	参加人数
4月22日	にこにこりはびりデイサービス巣子るむ	認知症の基礎知識・対応の仕方等 (デイサービス職員及び一般対象)	10名
5月31日	STモータースクール	認知症の基礎知識・対応の仕方等 (2年生対象)	9名
7月13日	滝沢市立柳沢小学校 (3年4年複合教室)	認知症の基礎知識・対応の仕方等 (3~4年生対象)	6名
9月26日	滝沢市立東小学校	認知症の基礎知識・対応の仕方等 (2年生対象)	39名
11月20日	岩手県立大学（社会福祉学部）	認知症の基礎知識・対応の仕方等 (1~2年生対象)	7名
11月22日	岩手県立大学（社会福祉学部）	認知症の基礎知識・対応の仕方等 (1~2年生対象)	5名

○参加の会議・研修 ※別紙2 参照

○評価及び次年度の方向性

昨年度コロナで中止となってしまった岩手県立大学での認知症サポーター養成講座を今年度は2回実施する事が出来た。認知症の講義はまだ受けていないという1~2年生の学生であったが、滝沢市が認知症サポーター活動が活発であることを知り、活動に参加したい、自分の住んでいる地域の活動を調べてみたいという意見や認知症が身近なものに感じられたという感想を頂いた。また職種では30~50歳代の方が受講し、滝沢市全体で支えあっていく方策を考えていきたいなどの意見を頂き、講座全体を通して認知症の方やその家族が安心して暮らせる地域という視点で考えていただく事が出来たのではないかと考えている。これからも認知症であっても住みやすい地域づくりを目指し、幅広い世代の方へ普及啓発活動を行っていききたい。北部地区にある2か所の認知症カフェは、参加者が固定化傾向にあり参加者が増えないという状況にある。介護経験者・当事者家族から色々な情報を得られることや、思いを共有できる癒しの場でもあることから今後必要性は高まっていくことが想像される。必要な方への情報提供や地域の方も気軽に参加できるよう広報活動をしていきたい。

6 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント

	介護予防支援事業		介護予防ケアマネジメント		計	
	基本	初回	基本	初回	基本	初回
包括	193	3	290	9	483	12
委託	652	22	760	26	1412	48
計	845	25	1050	35	1895	60

○評価及び次年度の方向性

認定を受ける方が増加傾向にあり、年間を通して158件前後の実績で推移している。、昨年と比較し予防のために認定を申請する方が増えていると思われる。認定後の意思確認は確実に行うことができ、次年度も引き続き、認定後の確認や相談、適切な支援につながるよう取り組んでいきたい。

## 7 その他

### ○主催（家族介護者教室）

会議・研修名	日時	場所	内容	参加者名
第1回家族介護者教室	9月30日	葉の木沢山活動センター	「高齢者施設の種類と特徴について」	30名
第2回家族介護者教室	12月15日	葉の木沢山活動センター	「終活に向けて」成年後見制度・遺言について	40名

### ○その他（会議等）

会議・研修名	日時	場所	内容	参加者名
今が一番館運営推進会議	4月25日 6月21日 8月22日 10月24日 12月19日 2月27日	今が一番館	活動報告 利用者の様子 防災訓練・防犯対策について 身体拘束廃止について	加藤 田中 加藤 田中 菫澤 佐藤
まごの手運営推進会議	4月21日 6月16日 8月18日 10月20日 12月15日 2月16日	ケアホームまごの手	運営状況・情報共有	工藤 佐藤 工藤 佐藤 高橋 田中
デイサービス今が一番館運営推進会議	12月11日 3月11日	今が一番館	活動報告 利用者の様子	菫澤 高橋
にこにこりはびりデイサービス菓子るーむ運営推進会議	6月27日 11月17日	にこにこりはびりデイサービス菓子るーむ	活動報告 利用者の様子	菫澤 田中
滝沢市包括との合同定例会議	4月17日 5月19日 6月16日 7月14日 8月18日 9月19日 10月17日 11月17日 12月14日 1月20日 2月21日 3月17日	市役所 オンライン ケアハウス菓子 オンライン 市役所 ケアハウス菓子 市役所 ケアハウス菓子 オンライン ケアハウス菓子 市役所	月次報告、総合相談の対応状況等について	菫澤 高橋 加藤 佐藤 工藤 田中 ※開催場所により参加人数変動有り
高齢者虐待コアメンバー会議	9月12日	オンライン	虐待の有無と緊急性の判断	菫澤 高橋 加藤 工藤
滝沢市地域ケア推進会議	11月22日	市役所	市の地域課題と評価、令和6年度以降の方向性について	菫澤
地域ネットワーク会議	12月20日	市役所	生活保護・自立支援事業について	佐藤
高齢者虐待コアメンバー会議	1月26日	オンライン	虐待の有無と緊急性の判断	菫澤 高橋 加藤
岩手医科大学看護学部実習生受入れ	10月16～20日	北部地域、訪問先	地域包括支援センター業務について	菫澤 加藤 佐藤
いきいきライフを語る会	8月1日 11月29日 1月29日	市役所	高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画について 高齢者保健福祉計画重点項目のグループワーク	菫澤
滝沢市高齢者健康福祉協議会	8月9日 1月31日	市役所	地域包括支援センター運営業務・福祉計画及び介護保険事業計画について	菫澤

○その他（研修等）

会議・研修名	日時	場所	内容	参加者名
東町内会お茶っこクラブ研修	4月24日	消防団第7分団菓子屯所	地域包括支援センターの役割について講話	菫澤 佐藤
滝沢市老人クラブ総会	4月26日	ふるさと交流館	事業所の説明等	菫澤 佐藤
運転免許返納の自己決定を支援するプロジェクト（仮）	5月10日 5月24日 6月14日	STモータースクール	当該プロジェクトの打合せ	菫澤 加藤 菫澤 高橋 菫澤 加藤
北部民生児童委員協議会総会	6月15日 8月10日 11月9日	北部コミュニティセンター	介護保険について講話 家族介護者教室の内容説明	菫澤
地域包括支援センター等職員 総合相談支援研修	6月16日	岩手県高校教育会館	総合相談の基本的理解 ひきこもり支援の実践	菫澤 高橋
地域包括・在宅介護支援センターフォーラム 虐待・権利擁護研修	6月27日	オンライン	行政説明・パネルディスカッション「高齢者虐待・権利侵害を生まない環境づくりに向けた取り組みについて」	菫澤 高橋 加藤
いきいきドライブcafé （運転免許返納の自己決定を支援するプロジェクト）	7月5日 8月2日 10月11日	STモータースクール	運転技術の確認・指導及び運転免許自主返納への支援	菫澤 加藤 菫澤 加藤 菫澤 佐藤
県立中央病院との情報交換会	7月12日	オンライン	情報交換	菫澤 高橋 加藤 工藤 田中 佐藤
いずみ菓子いきいきサロン	7月20日	いずみ菓子ニュータウン集会所	介護保険制度について	菫澤 佐藤
岩手県地域包括支援センター等中堅職員研修	7月21日 9月29日	岩手県高校教育会館	講義・実践事例紹介 研修・演習	工藤
盛岡広域成年後見センター交流会	7月31日	松実会本部会議室	広域成年後見センターについて 情報交換	菫澤
ケアハウス菓子2号館サロン	8月30日	ケアハウス菓子	尿漏れ防止講座	佐藤
認知症市民公開講座	9月2日	ビッグルーフ滝沢	認知症介護家族の話	佐藤
岩手県高齢者権利擁護地域研修	9月5日	岩手県民交流センター アイーナ	虐待対応と権利擁護	高橋 田中
認知症ケア向上支援連絡会	9月19日	岩手県民交流センター アイーナ	情報提供・事例紹介	佐藤
スローショッピングサミット・ こんのクリニック25周年記念講演	9月27日	マリオス	記念イベント	菫澤
滝沢生活と健康を守る会 学習会	10月13日	葉の木沢山活動センター	高齢者の問題と高齢者関連施設について	菫澤
ケアマネ支援センター巡回相談研修	10月16日 11月27日	ふれあいランド岩手研修室	居宅介護支援における必要な知識	工藤 田中
令和5年度滝沢市重層的支援体制整備事業研修会	10月16日	市役所	取り組み状況・研修	菫澤 高橋
令和5年度岩手県地域包括支援センター職員職種別研修	10月20日	アートホテル盛岡	主任介護支援専門員向け研修	菫澤
市町村等保険相談・苦情処理業務担当職員研修会	10月26日	オンライン	行政説明・講義	菫澤 高橋
いきいきサロン説明会	1月19日	ふるさと交流館	開催状況・実施報告	佐藤
地域包括支援センター職員管理者研修	1月21日、 22日	マリオス	地域包括支援センター管理者向け（人材育成等）	菫澤
ゲートキーパー養成研修	2月18日	ビッグルーフ滝沢	自殺対策について	加藤 工藤
令和5年度集団指導	2月21日	市役所	集団・運営指導、報酬改定等	加藤 高橋
令和5年度厚生労働省老健事業 オンライン事業報告会	2月28日	オンライン	高齢者の孤独・孤立対策や家族介護者の負担軽減の視点も踏まえた地域包括支援センターにおける見守り活動の効果的な実施に関する調査研究事業	菫澤 高橋

○評価及び次年度の方向性

研修については、地域包括支援センターの業務を行う上で必要な研修の機会を確保できた。次年度も地域包括支援センター職員としてのスキルアップを目指す方向で計画していきたい。

地域密着型事業所の運営推進会議へも参加し、地域事業所の活動や事業内容の把握と情報共有ができた。

また、毎月の市包括支援センターとの合同会議により事業内容の報告と確認、必要な研修・会議についても助言をいただきながら業務を進めることができた。

## 8 総評

今年度は、委託契約3年の最終年度となり当地域包括支援センターの集大成となる1年であった。今年度は相談受付の入力の仕方が変わり、1ケース1件ではなく継続した内容は数回の対応を1件のカウントとしているため、相談件数としては数字に出てこないが対応した件数は前年度より増えていると感じている。内容は、受診に関する支援や60代で、まだ実態把握していない方の相談が多く感じられた1年だった。

委託業務に関しては、地域ケア会議Ⅰ（年2回）行い地域課題となっている買い物はスローショッピング等の情報提供が活用されたり有効な会議となった。また、ネットワーク会議を通じて地域の福祉関係者や民生児童委員、警察署、消防署等関係各機関との情報交換や連携を行い、昨年度参加者の意見をもとに成年後見制度の研修も取り入れ、参加者から好評をいただいた。

地域への活動で認知症サポーター養成講座を6回行い、今年度は新たに「いきいきドライブカフェ」がSTモータースクール協力のもと始まり、一般企業への認知症サポーター養成講座も行えた。また、家族介護者教室（年2回）も定員を超える問い合わせがあり、当初の定員から10名増やすことで対応し、開催後は参加者の皆様から好評を頂いた。今後も地域住民の声を聞きながらテーマを考えてより多くの地域の方々に貢献したいと考える。職員の研修もオンライン等も利用しながら多数受講できた事は良かったと思う。市地域包括支援センターの後方支援や助言を頂き、連携を強めながら地域に根差した支援ができたと思われる。

次年度は委託も2期目に入り、今年度までに培った経験も活かし職員1人1人が自己研鑽を積み、チームワークで地域貢献に努めたい。